学校番号	1011

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)国語一般Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語必携パーフェクト演習　三訂版（尚文出版）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ことわざや四字熟語、慣用表現、漢字などの様々な問題の読解を行っていきます。また、そのような学習を通して国語の基本的な知識や技能を身に付け、その向上を目指します。
・SPI に関する問題演習や、手紙の書き方や面接試験のマナーなどについての学習も行い、国語の総合的な力を養います。
・授業では、板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや、自身で気づいたことなどをメモし、主体的に学習する習慣をつけましょう。また、提出物は必ず仕上げて期限内に提出することが大切です。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
ことわざや四字熟語、慣用表現、漢字などの基本的な国語の知識を身に付けている。
【思考力・判断力・表現力】
身に付けた国語の基本的な知識を活用し、自分の考えを表現することができる。
また、手紙や履歴書の書き方や、敬語の使い方、面接試験のマナーなどを学ぶことで、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉を通じて思いや考えを深めようとしている。取り組みの過程を振り返って、評価・改善しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な語彙を知り、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者とかかわったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字・慣用表現 ［教材］ 国語必携パーフェクト演習　三訂版	a：社会生活に必要な国語の知識である漢字や慣用表現などについて理解することができる。 b[書]：自分の思いが効果的に伝わるよう、慣用句などを駆使し、表現の仕方を工夫することができる。 c：積極的に国語の理解を深めようとしようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。ているとともに、自分の思いが伝わる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	長文読解問題の演習 ［教材］ 国語必携パーフェクト演習　三訂版	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、内容について理解を深めることができる。 c：今までの学習を生かして、問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期	SPI 問題の演習による、論理的思考能力の育成 ［教材］ 国語必携パーフェクト演習　三訂版 ［教材］	a：社会生活に必要な言葉の意味について理解することができる。 b[読]：言葉の意味や話の要旨を的確に捉えたうえで、論理的に思考し、内容について理解を深めることができる。 c：今までの学習を生かして、問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間